

目 次

研究論文

- 集団学習における即興表現の教育的意義 3
— わらべうた教材によるヴァイオリンの指導原理を求めて —
名古屋音楽大学 伊藤 誠
- 旋律記憶 15
— 旋律メロディーの再認・再生実験を通して —
立教女学院短期大学 小川 容子
- 子どものうたにおける日本語と音楽 27
— 促音を観点とした音楽教育学的アプローチ —
神戸大学 坂井 康子
- C. オルフの《動き Bewegung》 39
— パラダイム転換がもたらす可能性 —
大妻中学高等学校 中西 里果

実践報告

- 韓国音楽の教材化における一考察 51
— 世界の音楽による音楽教育 —
大阪青凌中学校 和田垣 究

課題研究

- B 「ハイパーメディアによる近未来の音楽教育」 61
近未来の音楽教育を展望する イメージ情報科学研究所 片寄 晴弘
(井口征士・才脇直樹)
- 教材としてのハイパー・シアター・ミュージック 京都芸術短期大学 中村 滋延
近未来の現在を实践報告する 兵庫教育大学 鈴木 寛
愛知教育大学 村尾 忠廣

例会報告 69

国際ニュース 77

会報 78

日本音楽教育学会編集委員会規定 81

日本音楽教育学会研究発表応募要項 82

編集委員 83

別冊付録 第4回音楽教育ゼミナール報告書